

## 平成 26 年度ウミガメ保護のための保護柵の設置について

### 1) 目的

ウミガメの産卵巣の多い区域への人の立ち入りを防ぎ、子ガメのふ化率及び帰海率を上げるために設置するもの。

### 2) 設置内容

場所：① いなか浜（ハッピー下、キャンプ場側）

② 前浜

期間：7月11日～10月2日（84日間）

規模：① いなか浜

ハッピー下……………長さ約 30m 幅 7m～10m

キャンプ場側……………長さ約 350m 幅約 15m

② 前浜……………長さ約 35m 幅約 21m

実施：① いなか浜

設置（永田浜ウミガメ保全協議会構成団体・機関）

撤去（永田浜ウミガメ保全協議会構成団体・機関）

② 前浜

設置（NPO 法人屋久島うみがめ館、屋久島自然保護官事務所）

撤去（NPO 法人屋久島うみがめ館）

### 3) 観察会の際に利用できる地域の設定

台風及び高潮による砂浜の減少で、観察会の実施期間中に上陸したウミガメの多くが保護柵内で産卵し、観察会の実施に支障をきたすことが懸念されたため、観察会の実施時間帯に限り柵内の一部に立ち入り、利用できることとした。

対象地域：いなか浜（観察小屋出入口～1本三角）

対象期間：7月11日～7月31日（21日間）の 20:30～23:00

観察方法：裏面の図を参照。

### 4) 特記事項

- ・例年、トイレ下の周辺に保護柵を設置していたが、今年度はトイレ下に水たまりがあったため、保護柵を設置しなかった。
- ・今年度は、いなか浜入り口周辺の保護柵内において観察会を実施できたことで、産卵場所へ迅速に案内することができ、産卵後はすぐに帰らせることができていた。
  - 参加者が浜の中をむやみに歩きまわるのを防ぎ、踏圧による影響を軽減できた。
  - 参加者を遠くまで案内する必要がなくなり、時間的および体力的負担を軽減させることができた。

図. 観察会の際に利用できる地域

